

2017年1月4日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

年賀式 永井浩二グループCEO発言要旨

2020年3月期の長期経営ビジョンの実現に向けて、残すところ3年余りとなりました。この長期経営ビジョン「Vision C&C」は、環境変化を恐れることなく絶好のチャンスとして捉え、自らの変革(チェンジ)に果敢に挑戦し、持続的な成長を実現できる事業基盤を2020年までに構築することを真意としています。

昨年は、我が国史上初となるマイナス金利政策の導入や、英国のEU離脱決定、米国大統領選挙の結果など、市場の事前予想を覆す出来事が立て続けに生じました。まさに「不確実性の時代」の到来を実感させられた1年でしたが、今年は、このビジョンの実現に向けて、ホップ・ステップ・ジャンプの、いよいよホップの年になります。

「Vision C&C」実現のために、各部門に次のことをお願いします。まず営業部門は、ビジネスモデル変革への取り組みの継続に加えて預り資産拡大の意識を強く持ち、また、NISAやジュニアNISA、iDeCoなど、「貯蓄から投資を通じた資産形成」の促進にもしっかり取り組んでほしいと思います。アセット・マネジメント部門は、運用資産残高の拡大と共により一層の運用力の強化を目指し、そして、ホールセール部門は引き続き、リスクとコストをしっかりとコントロールしながら、ボラティリティの高いマーケットを乗り切ってもらいたいと思います。

自らの「変革と挑戦」に取り組む当社は、同じ思いで世界への挑戦を続けるプロゴルファー松山英樹選手と共に歩んでいくこととし、本日、スポンサー契約の締結を発表しました。松山選手が果敢に海外メジャー大会初制覇を目指すように、野村も2020年長期経営ビジョン達成、そして100周年である2025年に向けて、「目指すのは、今まで以上の未来」の言葉を胸に、今年もしっかりと挑戦の歩みを続けていきたいと思っています。

以上